

グリーンカード（満場一致）

指摘事項

- 1) 訪問者に、より（多くの）地質学的な情報を提供するための新たなコミュニケーションツールの開発を考案する（例：簡略化された地質図、明確な（specific）インフォメーションパネル、リーフレットなど）。
- 2) ジオサイトデータベース及びリストの定期的なアップデートを確実なものにするとともに、保全の必要性についても検討する。
- 3) ガイド、教育、ツアーを通して、地質学的な遺産を持つエリアと、他の遺産を持つエリア（自然生物、文化、無形）のつながりを強化させる。例えば西山台地の海成段丘におけるジオサイトと、農業活動のつながりのように、地質と環境のつながりについて、地域ガイド、ツアーオペレーター、地域住民などに教授する。中川内地域の河岸段丘を含む新たなジオツアーのためのコースを開発する場をもうける。
- 4) 室戸世界ジオパークセンターの機能を以下の点において向上させる：
 - 日本国内の他のジオパークにある石たちをより多く展示する
 - 英語説明と翻訳についてアップデートおよび向上させる
 - すべての訪問者が館内すべての説明パネルの内容を、簡単に理解できる状態を確実なものにすること。ジオサイトの情報と地質図は簡略化されるべきであり、専門用語の使用は避けるかわかりやすく説明されるべきである。
- 5) 海洋部分を含んだジオパークエリアの拡大の可能性について分析・検討する。エリア拡大が可能であれば、それはジオサイト、生物多様性のサイト、漁業に関連する無形遺産のサイトを新たに設置するための価値付けも可能にするだろう。
- 6) 連携協定締結の戦略（パートナー戦略）を整備するために、その手法と基準を明確なものにし、連携協定締結のための骨組みを設けること。この戦略は、宿泊施設、ケータリング（飲食業）、交通運輸業、アクティビティ提供者、地元産品生産者らとの協定締結に適用され、またそれら事業者にのみ限定されるわけではない。こうした連携協定を締結したパートナーや地域生産者らの認知度を高めるために、ジオパークロゴやジオパークブランドの使用と、特別な広報のためのツールの提供について考察する。